

アブドッラティフ アブドッラ

元プロテスタントの米国人（半）：いかにイスラムが私の人生をえたか

：

明:

いかにイスラムがアブドッラティフの人生を良い方向へと完全にえ、「人生の旅」における地を
与えたか。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: アブドッラティフ アブドッラ

日 09 Sep 2013

集日 09 Sep 2013

社会学者としての私は、社会における病とジレンマについて考え、取り こんでいました。
。イスラムについての知 を めるにつれ、私は社会の病は主に、不健康的で 能不全の社
会的行 が原因であるという に しました。イスラムはあらゆる 面において最も健康で
ポジティブな方法を取ることに焦点を当てるライフスタイルであるため、それはあらゆる
る社会における社会的ジレンマに する唯一の答えなのです。こうした と共に、私は
イスラムが日常生活において 的な のあるものだと判断しただけでなく、なぜそれが他
の 宗教と比べて非常に なるのかを理解し始めました。イスラムだけが、人生のあらゆる
る 面における知 と きを提供するのです。イスラムだけが、肉体的 精神的 心理的 的な、
人生のすべての局面における健康と幸せを 成することの出来る方法を提供し、イスラ
ムだけが、人生の明 なる目的と意味を提供し、イスラムだけが、うわべだけでない、コ
ミュニティにおける生き方とそこに する 献について示します。イスラムこそは しもが
必要としているものであり、まだそれをつけない人々が探し求めているものなの
です。それは意 目的 健康 幸福への道です。なぜならそれは、私たちが必要とするすべ
ての力の源泉である神へと く、真っ直ぐな道であるからです。

私たちムスリムのライフスタイルがいかに包括的であるかということに、私は にムスリムになってからようやく 付きました。私たちが指示されている行いのすべてには、神を常に思い起こすという、1つの共通した目的があります。自らの 造主を思い起こすということは、日常生活の中のありふれた行 のように なことだと示すため、それは神による完全な宗教の卓越性を示します。私たちが神を常に思い起こし、すべての行いを神に捧げることによって、それらは崇 行 となることをイスラ ムは示します。それにより、私たちの活力、思考、行 はすべて不健康で 益な要因から され、すべての善良なものごとの源泉へと集中させます。こうして私たちは神の御力 御慈悲 恩 を常に求めます。神を思い起こすことにより、私たちは日常生活のあらゆる 面においてより良く、より く、より健康的になることが出来るのです。

私にとって、イスラ ムの 面の中にはある程度、理解の しいものもあります。それでもなお、私は自分の人生に必要とされる 化を容易とし、善きムスリムとして依然、米国に住むことを可能としてくださった神に日々感 しています。中流 の白人米国人として、イスラ ムの文化的 面の多くは、私と周りの人々が 染んできたものとは非常に なります。 、私が家族に改宗の事 を打ち明けたとき、彼らの疑 や心配のほとんど全てが 婚、社会生活、家族 などの文化的相 に わるものでした。彼らは私の神の信仰に する信条や宗教的 践行 についてはほとんど に留めなかったのです。私の家族 友人 同僚からは、ムスリムになることは必ずしも い 化とは なされませんでした。それには多大なイスラ ム教育を施すことが必要でした。私自身の教育に してもそうですが、イスラ ムの真 を彼らと共有することは、私たちがどれ程多くの知 を吸 出来るかには制限がないため、わりのない作 なのです。そして正しい知 を めることは、私たちにとっての 任でもあります。

正しい知 を得ることはムスリムの にとって めて重要な要素であることから、日常生活におけるイスラ ム 践の仕方を教えてくれた 匠を持てたことは、大きな いをもたらし、改宗によって した困 の の助けとなりました。何か のあるときに、 か知 のある人物が近くにいて助けてくれることは非常に素晴らしいことであり、すべての新ムスリムが努力して手に入れるべき 境です。イスラ ムは、キリスト教やユダヤ教が 代と共にそうし

てきたような、合理化することの出来る宗教などではありません。イスラ ムは 言者ムハンマドの人生と彼の教友たち、そして学者たちを通して神が私たちに示した明 道に、そのまま わなければならないのです。

今日、この 代、この社会では、私たちは表面上はイスラ ムに して 心をあらわにはしないながらも、一般的な信仰の欠如から、ムスリムにとって有害な人々からの え ない から、道をはっきりと することは困 なことかも知れません。常に当然のように官能的な惑に晒されている 境に身を置くのは容易なことではありません。しかし、イスラ ムの普遍的教えを 用することの出来る、博 で 深い 匠の助けが身近にあれば、神がクルア ンで 明するように、真理は ちから明 にされるのです。このようにして、私たちはいかにイスラ ムを正しく人生に み むべきかを理解し、神の祝福を え なく受けることが出来るようになるのです。真の正しい知 を持つと主 する者を める は、彼らがいかにそれを自らの人生で生かしているかを ることです。もしも彼らの行 が、彼ら自身の く教えにそぐうものであったならば、はじめて私たちは彼らの指 を仰ぐべきなのです。

私のイスラ ムへの旅は、まだ短いものではあるものの、人生を えてしまいました。それは日ごとに全能なる神への感 を深めさせます。神の慈悲の さは、定期的に づき、 造主の御意に う者にしか完全に理解は出来ません。これこそが私がイスラ ムを通して励んでいるものであり、ジハ ドの一 でもあるのです。それは、 日のすべての瞬 における努力ですが、私たちは に助けを求めるべきかを知るため、それを苦とはしません。

私はイスラ ム以前の人生を振り返って、 きを求めるために取っていた 々な手段について考えてみました。それは、神がどのような存在なのかについて私が 去に抱いていた色々なアイディアや、いかに神に近づくことが出来るのかについてなどです。真 を知った今、それらを思い起こすと、笑みがこぼれ、ときには さえ流れてきます。イスラ ムを通して、なぜ信仰のない多くの人々が恐怖を抱えて生きているのかが分かりました。神なくしては、人生は恐怖に ちたものとなり得ます。 去に同 の恐怖感を抱いていた私にはそれが分かるのです。しかし今、私はいわば究 の「自己救 プログラム」に入っています。それは、すべてを元来のあるべきところに据えてくれる道です。今、人生は意味を成しています。今、人生は筋が通っています。今、私はなぜ自分がここに

いるか、どこへ行きたいのか、どのような人生を送りたいのか、そして自分だけでなく皆にとって何が一番重要なのかを知ることが出来ました。私は道を未だ つけ出していない人々が、自分と同じように感じる日がやって来ることを っています。アルハムドゥリッラ ヒ ラッビル=ア ラミ ン（全 造の主であるアッラ に えあれ）。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/635>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。